

梶原令和の森林づくり協議会(ReMORI)機関紙

リモリ マガジン

Vol.2



昭和の時代に植え
平成の時代に一斉間伐した山々
令和の時代もしっかり引き継ごう
昨年6月に関係者で立ち上げた
梶原令和の森林（もり）づくり協議会
通称・ReMORI（りもり）の機関紙です。

森林に一層光を取り込もう
秋に紅葉黄葉する樹を増やそう
しっかり担い手を確保しよう
力をあわせて林業の活性化を実現しよう

どうぞよろしくお願い申し上げます。
ご意見やご感想を寄せて頂けると幸いです。

編集：ReMORI 角金・下村・笹岡

梶原町役場 森林の文化創造推進課
TEL 65-0811

ゆすはら地域おこし協力隊 高知市出身の下村智也さんが着任



下村さんファミリー



チェーンソーで玉切りの練習をしています！

ゆすはら地域おこし協力隊 抱負

10月よりゆすはら地域おこし協力隊に着任しました、下村智也と申します。私にとって梶原町は父と母の故郷であることから、小学生時代に毎年、夏休みの間は祖母の家に兄弟と預けられ、自然豊かな梶原町を駆け回って遊んだ思い出がずっと残っている思い入れのある地域です。そんな大好きな梶原町の森林を守れる仕事があることが協力隊に応募したきっかけです。

コロナ禍において地方移住者は増えてきていますが、まだまだ働き先が少ないのが地方の現状で、林業に関しては昔から「きつい、汚い、危険」の3Kのイメージが浸透し、働き手の減少が進んでいるかと思えます。まずはこの林業のマイナスイメージを変えて、梶原町に移住するなら林業を働き先の選択肢として考えてもらえるようにします。

その媒体としてSNS、ブログ、YouTubeなどに積極的にチャレンジしていきたいです。林業はワークライフバランスの取れた仕事環境で、これからの地球環境を守るやり甲斐のある職業だということを主に発信していきたいと思っています。

私自身、森林づくりには川上・川中・川下の全体で考える「繋がる林業」が必要だと感じています。植林や伐採、高性能林業機械の技術習得はもちろんですが、椎茸づくり、炭焼きの技術なども林業の一部ととらえ、豊かで持続可能な森林づくりを目指します。また全国的に植林をする方が少ないとお聞きしているので、植林事業や木材に新たな付加価値を加えた加工事業なども上手くビジネス化していきたいです。

家族3人で慣れない田舎での暮らしに戸惑うこともあります、周りの人たちに支えられ、梶原町に移住して本当に良かったと感じています。川のせせらぎ、鳥のさえずり、虫の鳴き声、家にいるだけで自然を身近に感じる、梶原町の森林をいつまでも守っていくために頑張りますので、今後とも何卒よろしくお願ひ致します。

下村 智也

CoMORI 若手林業グループ「CoMORI」の活動



昨年10月に梶原町内の林業従事者など7名で結成されたCoMORI(会長・谷田真吾さん、副会長・川上政志さん)が活動2年目を迎えました。

CoMORIの主な活動内容はロープワークやツリークライミングの技術を使い住宅裏などの危険木の処理を行う特殊伐採や、町内で行われるイベントの企画・運営です。今後も更なる活躍が期待されます。



ReMORI会長より挨拶

徐々に冬の寒さが厳しくなってきました。私事で恐縮ですが、この夏、体調を崩して長期に休養し、活動報告が途絶えたことをお詫び致します。コロナ禍を契機に“ウッドショック”という外国産木材の輸入が極めてタイトになる事態が続きました。一方で、国産材価格が上昇し、思わぬ事態が進行しました。今後の展開がどうなるか、もう少し状況を見極める必要があります。

さて、下半期がスタートした10月には、1日(金)に三人目の地域おこし協力隊として着任した下村智也さんに、辞令が交付されました。3日(日)には、ReMORIが主催する二回目の森林フェスティバルが秋晴れの太郎川公園で開かれ、今回も大いに賑わいました。15日(金)からは初めて企画した「森林づくり体験ツアー」を実施し、遠く関東や関西などから応募した6人の参加者に、植林やチェーンソーの扱い方などを体験してもらいました。森林の文化創造推進課やCoMORIのメンバーと連携して取り組む事業が、少しずつ軌道に乗ってきたように感じます。

今回は下村さんの自己紹介と初のツアー実施について報告します。

(会長: 笹岡)

町内で林業体験ツアーを開催

本町の林業の担い手確保を目的として、林業・田舎暮らしに興味のある町外在住の方を対象に、林業現場へ訪問し、作業を実体験する、第1回森林づくりツアーを10月15日から17日の3日間で開催し、20代から50代までの男女6名が参加されました。参加者の申込理由も、単純に林業とはどのようなものか知りたい方から、実際に梶原を移住の候補地に考えておられる方等、さまざま。

内容としては、1日目は梶原町森林組合での製材所・ペレット工場の見学、2日目は芹川地区国有林での植植、架線集材現場の見学、チェーンソー体験、3日目は町内木造施設の見学を実施しました。

参加者の方からは、「内容が盛りだくさんで大満足であった。」「林業に対するイメージが深まった。」とおおむね好評なご意見をいただきました。中には「これからは、家族を説得するために、しばしば梶原を訪問したい。」「他の市町村と迷っていたが、おおむね気持ちが固まった。」等、今回のツアーを通して、梶原への思いを固められた方もおられました。

今後、参加された方々と連絡を取りつつ、町の林業担い手の確保を進めていきます。講師を引き受けてくださったReMORI会員の皆さま、ありがとうございました。

なお、第2回は令和4年2月18日から20日に実施を予定しております。



川上政志さんに伐採現場の説明を受ける参加者



谷田真吾さんにチェーンソーの使い方を教わる参加者